

横須賀市消防団 「学生隊」創設へ向けトライアル開始

県内初の試みとなる学生だけのチーム。若者の発想と活力を消防団に。

令和8年10月28日(水)
横須賀市長定例記者会見

地域防災の要 直面する課題

- 地域防災の最前線: 台風等での避難誘導や災害対応
- 団員数の減少: 全国で長期にわたり減少傾向
- 最大の課題: 若年層に対する加入促進が急務

次世代の地域防災の担い手確保へ



新たなアプローチ:「学生隊」の創設へ



学生視点での広報

SNSや若者の言葉を活用した情報発信。

同世代への加入促進

イベント参加を通じた消防団の魅力啓発。

学生自身の学び

活動を通して消防団を知る。卒業後は基本団員へ勧誘。

若者が若者を呼ぶ「共感の連鎖」

行政の言葉ではなく、同世代の等身大の言葉でダイレクトに届ける。



学生ならではの発想

等身大の表現。
SNSを活用したリアルな発信。



同世代の強い共感

「自分にもできるかも」
「やりがいがありそう」という気付き。



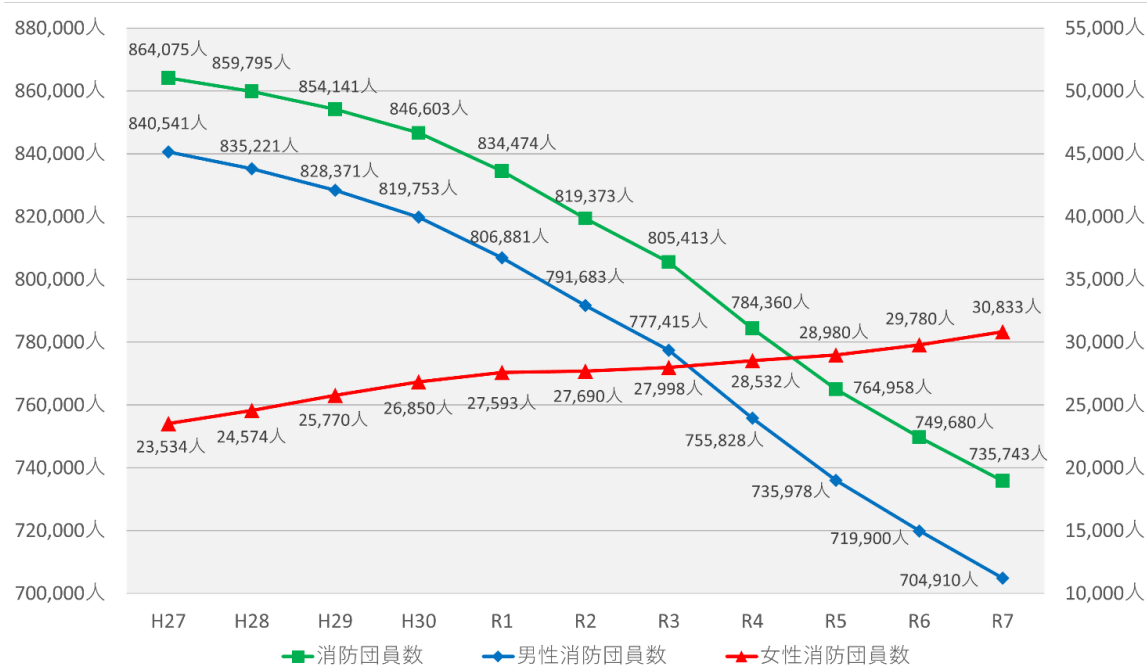
新たな担い手の獲得

加入への心理的ハードル低下。
実際の参加アクションへ。

なぜ今、情報発信が必要なのか

85.6%

全国の消防団員充足率（定員割れ状態）



(公財) 日本消防協会HP

88.3%

横須賀市消防団 充足率

待っているだけでは人材は集まらない。

積極的な魅力発信が急務。

加入ハードルを下げる「機能別消防団」

一般団員

- ✓ あらゆる災害への出動
- ✓ 定期的な消火・救助訓練
- ✓ 幅広い地域防災活動

役割分担



負担軽減

機能別団員（音楽隊・**学生隊**）

災害への出動・訓練なし

- ★ 能力・メリットを活かす
- ★ 特定の広報活動等に専念
- ★ 学業や仕事との両立が容易

本格運用に向けたロードマップ

1

令和8年11月

トライアル開始

市内在学の学生約30名が参加予定。

2

約半年間

試行的な活動

SNSルール作りやイベント参加。

3

令和9年4月

本格運用開始

課題と効果を見定めた上でスタート。